

## 温室効果ガス削減計画

## 1 事業の概要

## (1) 事業所の名称

廿日市市 RDF製造施設

## (2) 事業所の所在地

広島県廿日市市宮内3860 エコセンターはつかいち内

## (3) 業種

ごみ処分業

## (4) 事業所位置図

別紙のとおり

## 2 計画の期間

本計画の期間は、平成 23 年度を基準年度とし、平成 25 年度から平成 30 年度までの 6 年間とする。

## 3 計画の基本的な方向

## 1 基本的な考え方

当施設は、環境の保全を重要課題と位置付け、環境に配慮し温室効果ガス排出量の低減を念頭において施設設計を行い、RDF製造施設では日本発のコージェネレーションの導入、施設で使用する燃料はCO2発生量の少ない都市ガスを採用した設備であり、環境への負荷の低減を積極的に行っている。

## 2 方針

- 省エネルギー、省資源の推進
- 廃棄物の排出抑制・リサイクルの推進
- グリーン購入の推進
- 環境保全活動への積極的な参加
- 職員への環境教育の徹底

#### 4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

##### 【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )		
	平成2年度	基準年度	直近年度
		平成23年度	平成23年度
二酸化炭素		5,435	5,435

##### 【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )		
	平成2年度	基準年度	直近年度
		平成 年度	平成 年度
二酸化炭素			

##### 【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )		
	平成2年度	基準年度	直近年度
		平成 年度	平成 年度
メタン			
一酸化二窒素			
HFC PFC SF6			

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)		削減目標		目標年度 (平成 年度)
	排出量 (a)		削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO2					0
非エネルギー起源CO2					0
メタン					0
一酸化二窒素					0
フロン類					0
温室効果ガス 実排出量総計					0
温室効果ガス みなし排出量					0
目標設定の考え方					

※ 削減率(b) = (c)/(a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

**ごみ処理当たり排出量**

単位：排出量(t-CO<sub>2</sub>)，原単位数(kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成23年度)			原単位 削減目標	基準年度 (平成30年度)		
	排出量 (a)	原単位数 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO2	5,435	20,519	0.26	3.9	4,586	18,000	0.25
非エネルギー起源CO2				#VALUE!			
メタン				#VALUE!			
一酸化二窒素				#VALUE!			
フロン類				#VALUE!			
総排出量				#VALUE!			
エネルギー消費原単位 (原油換算 k l)	-	-		0.0	-	-	
目標設定の考え方	原単位見込数値は、ごみ基本計画に基づき市民一人当たりごみ排出量860gを760gに削減したものととして計上。 エネルギー起源CO <sub>2</sub> は原単位ベースで5年間で2%の削減率と想定。(すでに省エネ化した施設であるため大幅なエネルギー効率の改善が見込めないこと、並びにごみの削減による処理量の低下で運転効率が悪化することを想定。) 電気は中国電力㈱の実排出係数を使用						

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	原単位ベースで5年間で2%の削減率と想定。(すでに省エネ化した施設であるため大幅なエネルギー効率の改善が見込めないこと、並びにごみの削減による処理量の低下で運転効率が悪化することを想定。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全熱源燃料は都市ガスを使用中</li> <li>・効率的な運転の徹底</li> </ul>
2	電気使用量の削減	原単位ベースで5年間で2%の削減率と想定。(すでに省エネ化した施設であるため大幅なエネルギー効率の改善が見込めないこと、並びにごみの削減による処理量の低下で運転効率が悪化することを想定。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コージェネレーションシステム導入済み</li> <li>・効率的な運転の徹底</li> <li>・インバータの導入</li> </ul>
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み (環境価値の活用等)

	種 類	合 計 量
1		
2		
3		

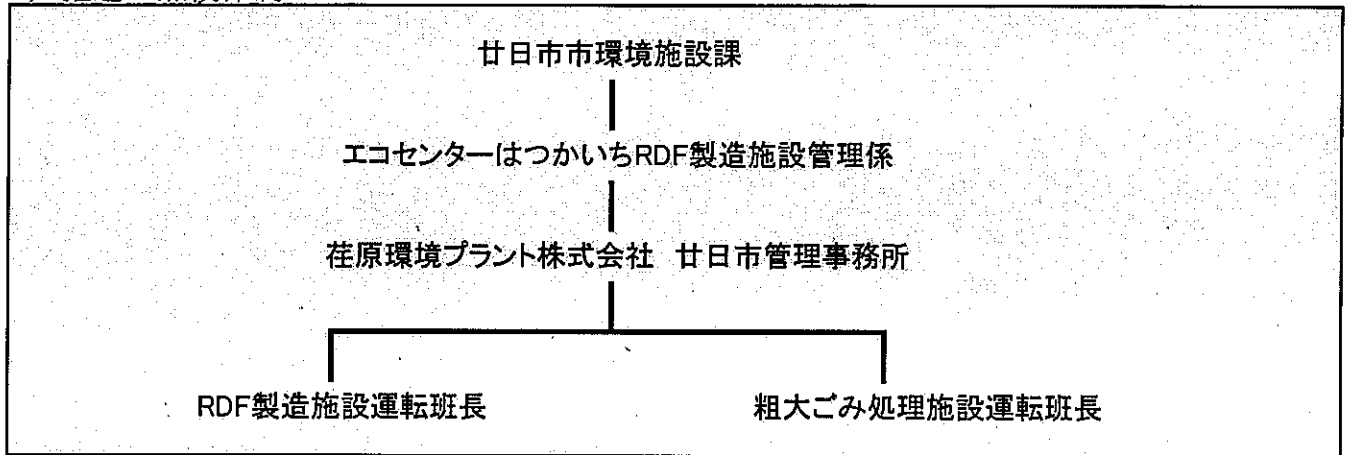
○ その他の取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

## 7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

### (1) 推進・点検体制



### (2) 実施状況の点検・評価

エコセンターはつかいちRDF製造施設管理係を中心として、毎年温室効果ガス削減計画の取組状況の把握・点検及び問題点の検討を行い、環境対策連絡会議において定期的に評価・見直し等を行い、継続的な向上を図る。

### (3) 計画書等の公表

- 事業所に備え付けて閲覧する。